

令和4年度

第2回 地域家庭教育推進南会津ブロック会議

日時:令和4年12月7日(水)13:30~

会場:南会津町 御蔵入交流館 多目的ホール 参加者16名

本年度の第2回の協議は『おうち時間の充実に向けて～メディアとの上手な向き合い方～』と題して、ワークショップを実施しました。熱心な協議の末、南会津ブロック会議としてのメディア利用についてのメッセージが整理されました。



協議のはじめに、ブロック会議の委員でもある南会津警察署生活安全課の深谷さんから、保護者がメディアにのめりこんでしまったために発生した児童虐待の事例を紹介していただきました。

これを踏まえ、「おうち時間」の充実に向けて、どのようにメディアを利用していけばよいかについて、各グループで活発な話し合いが展開されました。

協議の様子

保護者に向けてのメッセージ

家庭内でルールを決めよう
ゲーム以外の親子の思い出を
子供は親を見ている 真似をする
デジタルデトックス
家読の時間をつくろう
時間を決めて使おう
家族いっしょに食事をしよう
メディアを子育ての道具にしない
親子でいっしょに体を動かそう
学校での出来事を聞いてみよう
家に帰ったらスマホは決まった場所に
スマホのメリットデメリットを知ろう
学校ではなく家庭での指導にかかっている
自分の時間を楽しむのは 子供が眠ってから
子供に注意していること 自分にも当てはまりませんか

子供に向けてのメッセージ

ゲームは時間を決めて
体を動かそう！
本はあなたを どこへでも連れて行ってくれる
あなたもゲームも つかっているよ
「依存症」って知ってる？
今日あったこと おうちみんなに話してみよう
お手伝いをしよう！



「そろそろ終わりにしなさい！」
「いつまでスマホいじってるの！」
お子さんに、このような注意をしたことはないで
しょうか？
一方で、私たちはどうでしょう？
家族との会話の最中なのにスマホを操作してしま
う…。無意識にスマホを開いている…。スマホがな
いと不安になる…。
今回は、このような視点からの協議でした。家庭
生活はもちろん、仕事にも支障が出てしまうかもし
れません。
この冬休み、メディアとの付き合い方について、
家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

これらを集約したメッセージを、域内の保・幼・小・中・高校と家庭教育応援企業にお届けしました。